

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【公開番号】特開2007-206633(P2007-206633A)

【公開日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【年通号数】公開・登録公報2007-031

【出願番号】特願2006-28630(P2006-28630)

【国際特許分類】

G 10 H 1/00 (2006.01)

G 10 H 1/32 (2006.01)

G 10 G 5/00 (2006.01)

【F I】

G 10 H 1/00 A

G 10 H 1/32 Z

G 10 G 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月12日(2008.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

演奏者の打撃操作に応じて電気信号を発生する、複数の打撃操作子と、

該複数の打撃操作子が発生した電気信号を伝達する信号線と、

該信号線を接続し、該信号線によって伝達された電気信号に応じて、楽音信号を生成する制御部と、

前記複数の打撃操作子を保持する、複数の長尺体からなるスタンドとを有し、

前記複数の長尺体には、前記制御部と、少なくとも2本の支柱とが含まれ、

前記制御部は、前記2本の支柱を略水平に渡すように配置されることを特徴とする電子打楽器。

【請求項2】

前記制御部は、前記2本の支柱の長手方向に任意に移動させて取付可能であることを特徴とする請求項1に記載の電子打楽器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記目的を達成するため、請求項1に記載の電子打楽器は、演奏者の打撃操作に応じて電気信号を発生する、複数の打撃操作子と、該複数の打撃操作子が発生した電気信号を伝達する信号線と、該信号線を接続し、該信号線によって伝達された電気信号に応じて、楽音信号を生成する制御部と、前記複数の打撃操作子を保持する、複数の長尺体からなるスタンドとを有し、前記複数の長尺体には、前記制御部と、少なくとも2本の支柱とが含まれ、前記制御部は、前記2本の支柱を略水平に渡すように配置されることを特徴とする。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項1に記載の発明によれば、演奏者の打撃操作に応じて電気信号を発生する、複数の打撃操作子と、該複数の打撃操作子が発生した電気信号を伝達する信号線と、該信号線を接続し、該信号線によって伝達された電気信号に応じて、楽音信号を生成する制御部と、前記複数の打撃操作子を保持する、複数の長尺体からなるスタンドとを有し、前記複数の長尺体には、前記制御部と、少なくとも2本の支柱とが含まれ、前記制御部は、前記2本の支柱を略水平に渡すように配置されるので、電子打楽器の重心をスタンドの下部に位置させることができて、電子打楽器を安定化させることができるとともに、スタンドの剛性を保ちながら、装置全体としての部品点数を減少させることができる。